

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年12月15日

事業所名：サポートキッズうけんのいえ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				
	2 職員の配置数は適切である	6				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		☆玄関前の段差が視覚的に分かるよう、滑り止めの効果も兼ねた階段用のテープを貼って対応している。	☆玄関に段差があり、今後スロープや手すりなどの設置も検討していきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		☆朝や業務後のミーティング時に、児童の情報や気になること、保護者からの意見等共有するようにしている。	☆話し合いを基に支援に活かせるよう、意見を出し合い、今後も継続していきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		☆初回の評価実施で協力依頼を行い、保護者様のご協力のもと100%回収する事ができた。	☆保護者様のご意見をもとに、業務の改善とより良い支援につなげていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	1	☆結果を集計し、ホームページにて公表する。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	1	☆第三者による外部評価は行っていない。	☆状況見ながら検討したい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			☆月に一度、内部研修を開催している。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			☆各関係機関が集まる担当者会議での情報を共有し、共通理解の基、計画書の作成を行っている。	☆アセスメントを適切に行い、継続していきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		☆誰が見ても分かりやすい適切なアセスメントがなされるよう、工夫している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1	☆その月の主となる職員を中心に協力して行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			☆個別のプログラムとは別に、日替わりでの集団プログラムをバランスよく立案し、取り組んでいる。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		1	☆各児童の特性を踏まえ、バランスを考えて個別・集団プログラムの組み合わせを行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	1	☆朝のミーティングで、一日の流れや役割、申し送り事項等を全員で確認している。	☆継続していきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	1	☆業務後のミーティングの際に、気になった点や全員で共有するべき事項を確認している。	☆継続していきたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			☆毎日提供日誌を記録し、いつでも確認できるようにしている。	☆継続していきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		☆定期的にモニタリングを行い、各職員の意見を取り入れて見直しを検討している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			☆お迎え時に直接確認を取ったり、学校からのお知らせプリントメールで随時確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	5	☆該当する児童がいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			☆会議を通して各関係機関で情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			6	☆該当しません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	1		☆研修会には参加しているが、今後はより各職員バランスよく研修を受けられるようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6		☆コロナが終息し安全が確認された時には、保育園や幼稚園、他事業所の方々と交流できる機会を設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3	3		☆参加はできていない状況だが、今後状況を見ながら検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			☆日々の連絡帳や送迎時で対面した際に状況を説明し、又はお話を伺い、状況によっては電話やメールでお伝えし、共通理解を図っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	3			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			☆契約時に説明を行っている。	☆後日説明を求められた際にも再度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	5		☆保護者会等の組織はありませんが、コロナによりなかなか交流を持っていないのが現状だが、今後は事業所での行事に合わせて保護者様同士の交流の機会を持てるようにしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				☆子どもや保護者様からの苦情があった際には、丁寧にお話を伺うとともに、迅速に対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			☆毎月うけんのいえ便りを発行し各ご家庭にお配りしている。また、タイムラインやブログ等で活動の様子などが分かるように発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6				☆個人情報の取り扱いは今後も十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3		☆コロナが終息し安全が確認された時には、地域の方とも交流できる機会を設けられるよう検討する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			☆年2回の避難訓練を実施致している。	☆継続していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			☆内部研修会だけでなく、行政の研修会に参加するようになっている。	☆研修を受けた際には、研修受講報告書の記入・提出を行うようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	3		☆身体拘束を行う事がなく、今のところ計画書には記載していない。	☆今後必要であれば、記載の検討を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	3	☆保護者から事前に報告があり、全職員が把握できるようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			☆ヒヤリハット事例が発生した際には、直ぐにヒヤリハット報告書を記入・作成し、改善策を立てるなど行っている。	